

地域金融機関の出店行動について：
全国市区町村別のデータによる実証研究

小塚 匡文*

<要旨>

本稿では、2016年度の全国の地域金融機関（第2地方銀行含む地方銀行と信用金庫）の出店状況に基づき、国内各市町村及び特別区（1640市区町村）における地域金融機関の店舗数に影響を及ぼす要因について、産業構造（商業及び工業）を踏まえた検証を展開している。負の二項回帰モデルによる分析の結果、地方銀行・信用金庫は商業（年間商品販売額及び事業所数）の数值が大きい市町村に店舗を置く傾向があること、製造品出荷額の数值の大きい市町村に店舗を置く傾向は地方銀行にのみ見られること、そして地方銀行は廃業率が高い市区町村には出店していない一方で、信用金庫はそのような出店行動をとっていないことなど、地方銀行と信用金庫の出店行動は大きく異なっていることが示唆された。

Keyword: 地域金融機関、製造品出荷額、商品販売額、廃業率、負の二項回帰モデル

*摂南大学経済学部／神戸大学経済学研究科（研究員） E-mail: koduka-po.osu@hotmail.co.jp